令和
5年度

COMPASS 発達支援センター須崎

討議日：令和５年 10 月 11 日
公表日：令和６年　３月　７日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	7		法令の基準に適した適切なスペースを確保しております。 また活動や利用児童の状態に合わせて部屋を分けております。	
	2	職員の配置数は適切である	7		国の定める基準以上の人数配置をしております。 児童発達支援管理責任者・管理者１名、理学療法士１名、保育士５名が在職しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	室内に段差はなく車椅子での移動には支障のない環境となっております。	エレベーターが完備されており、室内はバリアフリーとなっております。 教室からトイレまでが離れているため、職員が必ず児童に付き添い安全に配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるため PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		リフレクション会議を実施し支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように努めております。 また職員全体で引き継ぎを行い、療育内容の確認などの話し合いを行っております。	
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式 Web サイト等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		事業所内の研修にて積極的に研修を行っております。	感染症の状況を踏まえ外部での研修にも参加していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		定期的にアセスメントを行い、児童の状況や保護者様のニーズを踏まえて客観的視点で立案、支援計画を作成しております。	
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		計画作成時には法人で作成した標準化したアセスメントツールを適切に使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		児童発達支援管理責任者を中心に職員全員がチームとなって立案しております。	支援開始前には引き継ぎなどを行い、プログラムの立案を行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		職員全体で意見を出し合い、児童の年齢や特性に合わせたプログラムをチームで立案しています。	職員全体で情報共有する為、日々の引継ぎを徹底し確認をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	平日は主に個別での学習を行い、休日や長期休暇には集団での関わりやイベントを行っております。	今後も継続して平日・休日・長期休暇に応じた細やかな課題を設定し支援を行っていきます。
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童の発達・特性に合わせて個別活動、集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	その日の役割分担等については職員間で必ず確認しております。 また児童のようすについても引き継ぎを行い、共通認識を図っております。	今後も役割分担等の確認や利用児童のようすの把握に努め共通認識を図りより良い支援に繋げていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	支援終了後の話し合いは送迎などで難しい場合もあり、職員全体で行うことは難しいこともありますが、引き継ぎノートを活用し利用児童についての共通認識を図っております。	今後も継続して共通認識に努め、報告・連絡・相談を丁寧に行っていきます。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個人経過記録の記入や引き継ぎにて話し合い、情報共有を行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングを実施し状況や課題を踏まえ、計画の見直しを行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、児童一人ひとりの課題に合わせた支援を行っております。	
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達支援管理責任者と機能訓練の分野で精通している専門職員が参画するようにしております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		学校とは主に送迎時に情報共有し、連携を図って、下校時間の確認など連絡調整を実施しております。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	1	6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	相談支援専門員を中心とした担当者会議での引継ぎを行い、支援内容の情報共有と相互理解を図っております。	担当者会議など話し合いの場を通してそれぞれの支援内容について情報共有を行うことで、相互理解に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	保護者様のご意向を確認したうえで各関係機関と情報共有・相互理解に努めております。	今後も情報共有と相互理解を継続し障害福祉サービス事業所との連携に努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	担当者会議等で他事業所や相談支援専門員と情報共有し、連携を図っております。	今後も専門機関との連携を図り、助言や研修を受けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある		7	コロナ禍ということもあり感染防止の為、交流の機会を設定することができませんでした。	今後は、保護者様のご意見を伺いながら検討していきます。
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		須崎市主催の自立支援協議会に定期的に参加しております。	
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳の記入や送迎時に児童のようすを細かくお伝えし、共通理解を図っております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	4	送迎時や連絡帳のやりとりを通じて保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。	今後も、ご意見や申し入れなどには迅速かつ丁寧に対応していきます。
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時とモニタリング時に丁寧な説明を心がけております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎時や連絡帳のやりとりを通じて保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	2	5	本年度も保護者会を開催できておりません。今後は開催することができるよう保護者様の御意見を伺い、保護者様と職員が交流できるような機会を検討していきます。	保護者様のご意向に 配慮しながら保護者様同士や職員 との交流の機会を検討していきます。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情窓口と責任者を配置し、玄関には、ご意見箱を設置しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		公式 Web サイトで事業所でのようすをお伝えしております。また月毎の連絡帳カレンダーにて活動のようすなどをお伝えしております。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報の書類は鍵付きキャビネットで保管を行っております。 個人情報が記載されている書類の廃棄の際にはシュレッダーにかけております。	
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		保護者様には専門用語は使用せず分かりやすい言葉で丁寧な情報伝達を行っております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	コロナ禍ということもあり感染防止の為、行事を設定することができませんでした。	プライバシーの観点もあり保護者様全員の理解や説明が難しい部分もある為、慎重に検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルは事業所の玄関内に掲示し保護者様にご覧いただけるようになっております。 事業所内で感染症や緊急時対応について周知し、訓練を計画、実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年間計画を立て定期的に児童も参加し避難訓練を行っております。 連絡帳のカレンダーで訓練のようすをお伝えしております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		感染症対策の為、外部への研修には参加できておりませんが事業所内で研修を行い、全職員が共有、理解しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。 保護者様には、契約時に詳しくご説明し、了承を得ております。	
	42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	定期的にモニタリングを行い、保護者様との情報共有を行っております。 指示書のある児童については一覧表の作成を行い、職員全体で周知しております。	今後も保護者様との情報共有を行い、適切な対応を心がけていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット報告書を作成しミーティングを行い再発防止に努めております。	

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。